

平成 30 年度個別学力検査等（前期日程）

「英語（A）」 出題の意図

I 英文和訳

(A)

年齢など、状況の推移に応じた時間感覚の変化を題材とした文章。複数の状況の対照、譲歩表現を含む複合的な構文、前置および後置の両方が含まれる名詞と形容詞の修飾関係などを的確にとらえ、英文の意味が正確に理解できているかどうかを問う問題。

(B)

文化は、人間が作り出したものに具現化され、そこにこめられた意味はあたかも「自然」なものと感じられるようになることを述べた文章。文化のあり方を論じる抽象的・具象的語彙の正確な理解、下線部第 1 文と第 2 文の意味的対照、複数の接続詞で導かれる第 3 文の論理がとらえられているか、などを問うている。

II 長文総合問題

題材となる英文は、生物はそれぞれのやり方で環境に適応し独自の進化をとげてきたのであり、この意味で人間の大人だけが特別に優れているわけではないことを論じている。やや複雑な論理性を含んだ英文を読むことで、語彙力や語法力を含めた受験生の総合的な英語読解力を問うている。設問（1）は、本文空所に入る前置詞または前置詞的副詞を選択肢から選ばせることで、動詞と前置詞の共起、句動詞、副詞句などの知識を具体的な文脈において活用できるかどうかを問う。設問（2）は、やや高度な単語、あるいは間違えやすい意味の単語を文脈の中で言い換えさせる四者択一問題であり、語彙力、文脈把握、そして動詞と前置詞の共起関係などを問うている。設問（3）は、本文中の主張の具体的論拠を述べさせることで、局所的な読解力を試している。設問（4）は、本文中の主張から導かれる帰結を述べさせ、当該段落内の論理の流れの理解を問う。設問（5）は、本文中の命題に関連する具体例を読み取らせ、複数段落にわたる読解力を測る問題である。設問（6）は、筆者の判断の理由となる部分を的確に指摘することを要求している。最後に設問（7）によって、本文全体の正確な理解を問うている。

III 自由英作文

受験生がこれまでの学習や日常生活に照らして考えることのできるテーマを問題に選んでいる。具体的な出来事とその教訓を明確かつ論理的に提示できる英語表現能力を試している。

IV 和文英訳

(A)

比較的平易な日本語の文章を、正確で自然な英文に表現できる基礎的な英作文能力を問う問題。

(B)（文学部の志願者）

文化におけるコミュニケーションの役割を論じた日本語の文章の意味を、英語で表す問題。複雑な論理関係を正確に読み取り、明瞭な英語で表現することを問い、英文の構成力、文法能力、語彙力を総合的に試している。

(C)（文学部以外の学部の志願者）

自然現象と法則の関係を述べた学術的な文章を読み、その内容を英語で表す問題。原文の論理を反映した、正確な英文を書く能力を測っている。